

3 学年 国語科ガイダンスシラバス 教科担当 武田 花音

1. 国語を学ぶねらい

中学3年では、義務教育修了後も社会に通用する言語能力を身に付けることを目標とする。そのためには、漢字・語句・文法の知識を身に付けること、国語による表現力と理解力を付けること、伝え合う力を高めること、そして思考力・想像力を養っていくことが重要である。国語がすべての学習活動の基本となることを自覚させた上で学ばせていく。

2. 学習方法

- ・授業の学習活動を確実に行う。先生の説明は、正確に聞く。ノート・プリントは記入もれなく書き、気付きをメモする。課題は、時間内に終わらせる。発問に対しては真剣に考え表現する。友達の発言はよく聞き自分の考えを深めたり広げたりする。
- ・復習を欠かさず行う。ワークを使い、漢字学習や問題演習に取り組む。
- ・ワーク、プリント、書写等提出物は、ていねいに期限内に遅れないよう提出する。

3. 持ち物、忘れものなどについて

- ・国語の授業 教科書、ノート、ワーク、3年間のまとめワーク、漢字ワーク、資料集
 - ・書写の授業 書写教科書、書写セット（年間10時間程度実施）
- ◎忘れ物は、申し出ること。

4. 学習の評価内容と評価方法

「知識・理解」古典・漢字・文法等小テスト・書写・暗唱、定期テスト
「思考・判断」定期テスト、スピーチや話し合いの発表、作文、ワークシート、ノートの記入、問題集
「主体的に学習に取り組む態度」ノートの工夫、振り返り、提出物、授業への取り組み

5. 先生からのアドバイス

学校の評定は三つの観点の総合成績です。「読解問題」の得点力をつけるだけでは成績アップは難しいです。授業では、自分で考えをまとめる、考えを発信する、他人の意見を聞き考えを広げることを意識しましょう。ノートにメモをすると力がつきます。家庭では毎日短時間でも漢字や語彙を増やす学習をしたり、読書をしたり、「繰り返し、諦めずにコツコツ努力すること」を実践しましょう。社会に出た時に使える国語力の基礎を固めましょう。

6. 国語科3年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	詩・岩が 小説・握手 グループディスカッション 評論・間の文化 条件作文 書写(毛筆・硬筆) 批評文 俳句の世界・俳句十首 随想 希望 漢字を身につける	・表現の特徴と効果、心情の理解。 ・人物像を的確に捉える。 ・合意形成に向け考え、話し合う。 ・論理の展開に注意して読む。 ・説得力のある文を書く。 ・行書の特徴を捉えて書く。 ・論の展開に気をつけて書く。 ・きまり特徴に注意して味わう。 ・文章を読み社会への意見をもつ。 ・常用漢字の理解を深める。	古典の暗唱 小テスト 書写作品 定期テスト 課題図書 スピーチや話し合い 作文類 定期テスト ワークシート、 ノートの記述4
2	9 10 11 12	和歌(万葉古今新古今) 論説・フロン規制の物語 パブリックスピーキング おくのほそ道 論語 論説・情報社会を生きる 広告の読み比べ ポスター 書写(書き初め) 表現につながる文法 詩・初恋 漢字を身につける ことば発見	・情景や心情、表現効果を捉える。 ・筆者の物の見方を捉えて読む。 ・状況にあった言葉を使い話す。 ・作者の物の見方をとらえて読む。 ・孔子の考え方に対し意見をもつ。 ・文章を読み自分の考えを深める。 ・情報と関連付けて読む。 ・説得力ある構成を考える。 ・特徴を捉え、バランスよく書く。 ・ことばの選び方を理解する。 ・描かれている心情を味わう。 ・常用漢字の理解を深める。 ・場や状況による言葉の使い分けについて理解を深める。	問題集 毎授業の振り返り 授業取り組み
3	1 2 3	書き初め互評会 小説・故郷 論説 文殊の知恵の時代 3年間のまとめ 漢字・語句・文法 読み取り問題 課題作文 名言集 朝学習で漢字等の復習を行う。	・互いの作品を批評する。 ・場面、人物設定と内容理解。 ・生き方について考えをもつ。 ・筆者の主張をとらえ、社会について自分の意見をもつ。 ・話す聞く書く読むのまとめをし、自分の学びを広げる。 ・考えながら読めるようにする。 ・所定時間内で書けるようになる。 ・心に残った言葉を紹介しあい、名言集を作る。	